

G X - S 5 0 形 片落管

令和5年 10月 11日 仕様制定

1. 適用範囲

この仕様は、水道施設に使用するG X - S 5 0形ダクタイトイル鑄鉄異形管の片落管（以下、管という。）について規定する。

なお、この仕様で定めるほかは、J W W A G 1 2 1及びJ D P A G 1 0 5 2の規定に準拠すること。

【備考】次に掲げる規格は、この仕様に引用されることによって、この仕様の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

J W W A G 1 1 2（水道用ダクタイトイル鑄鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装）

J W W A G 1 2 1（水道用G X形ダクタイトイル鑄鉄異形管）

J D P A G 1 0 5 2（S 5 0形ダクタイトイル鑄鉄管）

2. 種類及び記号

管の種類は、異形管であるため種類分けなし。管の記号はD Fとする。

3. 継手、接合形式及び呼び径

管の継手、接合形式及び呼び径の範囲は、表1による。この場合、G X形は、J W W A G 1 2 1による。また、S 5 0形は、J D P A G 1 0 5 2による。

なお、管の接合に用いる接合部品は、J W W A G 1 2 1の附属書A及びJ D P A G 1 0 5 2の附属書Aによる。

表1 継手、接合形式及び呼び径

区分	継手	接合形式	呼び径
異形管	離脱防止継手	G X形	75
		S 5 0形	50

4. 機械的性質

管の引張強さ及び伸び、硬さは、J W W A G 1 2 1に規定する各項目による。

5. 黒鉛球状化率

管の黒鉛球状化率は、J W W A G 1 2 1に規定する項目による。

6. 浸出性

管の浸出性は、JWWA G 121に規定する項目による。

7. 耐水圧性

管の耐水圧性は、JWWA G 121に規定する項目による。

8. 形状・寸法・質量及びその許容差

8. 1 形状、寸法及び質量

管の形状、寸法及び質量は、付図のとおりとする。

8. 2 許容差

(1) 管厚の許容差

管の管厚の許容差は、表2による。

表2 管厚の許容差

区分	種類	許容差
異形管	呼び径 50mm	+規定せず -1.0mm
	呼び径 75mm	+規定せず -2.3mm

(2) 有効長の許容差

管の有効長の許容差は、表3による。

表3 有効長の許容差

区分	種類	許容差
異形管	呼び径 75mm	+20mm -5mm

(3) 質量の許容差

管の質量の許容差は、表4による。

表4 管の質量の許容差

区分	種類	許容差
異形管	呼び径 75mm	+規定せず -8%

9. 継手性能

管の継手性能は、JWWA G 121に規定する項目による。

10. 外観

管の外観は、次のとおりとする。

- (1) 管の内外周は実用的に同心円であって、その両端は管軸に対して直角でなければならない。
- (2) 管の内外面は、使用上有害な鑄ばり、鑄巣などの欠陥があってはならない。ただし、軽微なきずなどは、注文者の承認を得た場合、溶接又は樹脂充填材で補修を行うことができる。

11. 試験

試験項目は、JWWA G 121に規定する各項目による。

12. 検査

管の検査は、機械的性質、黒鉛球状化率、浸出性、耐水圧性、形状、寸法、質量、継手性能及び外観について行い、4.～10.に適合しなければならない。ただし、耐水圧性、塗装後の仕上がり面、形状、質量及び外観については、全数行う。また、再検査は、JWWA G 121に規定する項目により行う。

なお、本市の承認を得た場合には、検査の一部を省略することができる。

13. 表示

管の表示は、見やすい場所に鑄出し、打刻などによる次の事項の明示がなければならない。また、検査は目視によって全数行わなければならない。

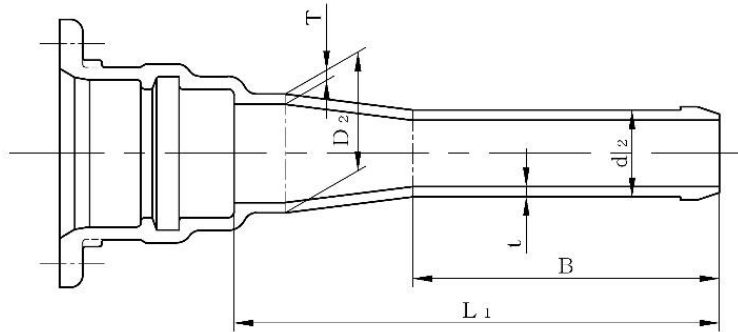
- (1))|(の記号
- (2) 管厚の種類記号DF
- (3) 製造年（西暦の下2桁）
- (4) 製造者名又はその略号
- (5) 呼び径
- (6) 受口の接合形式の記号（GX又はS50）

付図

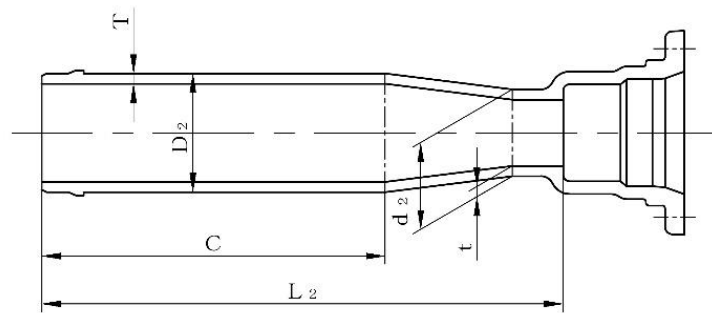
G X - S 5 0 形片落管

単位 mm

受挿し片落管



挿し受片落管



呼び径		管厚		外径		各部寸法				質量(kg)	
D	d	T	t	D ₂	d ₂	B	C	L ₁	L ₂	受挿し	挿し受
75	50	8	8	93	68	240	270	380	410	11.2	9.16

【内面塗装】 J W W A G 1 1 2 (水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装) による。

【外面塗装】 J W W A G 1 2 1 (水道用G X形ダクタイル鋳鉄異形管) の耐食亜鉛系塗装による。